

文庫あれこれ

◆7月の「海の日のおはなし会」には、たくさんの方に参加いただいてありがとうございました。野外でのおはなし会もさることながら、「伊豆高原」のひとつの夏のイベントとして根付いてくれたら、と始めて8年たちました。まだまだ、工夫が足りませんが、文庫のみなさんや、後援してくださる伊豆急の方々をサポートで、これからも楽しい心癒される会を続けたいと思います。◆文庫のお誕生日に常連 Y ちゃんが文庫風景を描いて届けてくれました。とても丹念に、文庫の賑わいが表現され、見事です。ありがとう!◆今年の夏の特徴は、雷と極地雨でしょうか?被災された方、なくなった方も出ています。今回娘の車で来ましたが、東名で急な豪雨のなか、突然猛烈なシャワーを浴びて車の面前視界ゼロ、車間距離の大切さを実感。もっとも運転してたのは、慎重この上もない娘で安心。◆先月庭の草を刈ってもらったのに、もう丈高に伸びてる雑草、そして家の中には、大中小の蜘蛛さんたち。蚊には集中攻撃を受けるし、昔から虫が苦手。これでは、なかなか大室の住人にはなれそうもない?!◆秋には咲くと聞いていたサルビアの花が咲いています!◆夕刻、蝸がカナカナと鳴き初めると秋が近いと昔聞いたように思い込んでいましたら、先月 T さんが 毎年日記をつけておられて、7月、すでにカナカナは鳴いているようで、彼らの鳴き声は秋の知らせではなかったようです。◆少しずつ、本が増えて、文庫の中をどこにどんな本があるか、友の会のご協力を仰ぎながら、整備しはじめました。◆ネットの古本屋に注文デビューしました。K さんが読みたい本が絶版・再版予定なし、とのことで、いざ初体験!それが一発でゲットできちゃいました。それも新品同様。古本さがし、くせになりそう!◆人の縁は何処まで連なる? 5月のアートフェスティバルでトンボ玉工房さんと作品展示の中学生が繋がっていましたが、上記の K さん、何と西村が親しくしている作家・翻訳家の T さんと従姉妹だと分かって…。縁は異なるものですね。◆失敗談をひとつ：大人の本もみなさん一巡一読と思い、何とか新しい本を、それには、少し、入れ替えを、しまう場所が無い、それでは、簡易倉庫を、と考えたまではよかったのですが(その大きさと置く場所にそれでも腐心したのですが)、夏休みに母屋にやって来る家族に不人気。ぶつくさ言われ、あ〜もう、文庫を設計してくれた Y さんには見せられないわねえ、とまで言われる始末。緻密な計画を立てられない衝動的な人間の落とし穴?え〜い!倉庫は絶対必需品として役立てるぞ、と人知れず心する母であります。◆自分で何をしているのかわからなくなるほど、とにかく雑用の多いスケジュールで、この夏休み、変な開館日を設定して恐縮ですが、読書に、調べものに、おしやべりに、1日といわずご来館ください。(西村)

8月は開館日が変則です

8~10日、30~31日の5日間

開館時間は5日間とも10:00~15:00

10、31日の日曜はどちらも

「子どものための小さなおはなし会」があります。

“ “これからの催し物のお知らせ” ”

大きい人のための<秋の夜長のおはなし会>

10月19日(日)18:00~

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆9月は通常の第3土日(20、21日)です。

◆10月は通常の第3土日(18、19日)です。

◆文庫の時間：通常、土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。

午前10:30~11:00

♥文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日ではなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
みんなで勉強会

★8月は9日(土)9月は20日(土)です(11~13:00)。
10月はお休みです。

11月はクリスマスおはなし会にするおはなしを
各自持ち寄ってプログラムを決めます。

お願い

新年度が始まりました。年会費徴収にご協力ください。

沙羅の樹文庫便り

No.24

(2008年8月号)



時には
子どもの本を
読んで
みませんか。

(母を亡くした9歳と5歳の姉妹が、ひと夏、身を寄せたおばさんの庭には……
今年の小学校
中学年・読書感想文・課題図書です)

大室山のむこうにおっきな入道雲が聳えています。
暦の上ではもう立秋ですが、まさに夏真っ盛り!
今年のあなたの夏の思い出づくりは?

文庫では、大きい人には、夏向けちょっとこわ〜いおはなし+人生をまじめ?に考えてみる新書など(既刊の文庫ももちろん沢山)。小さい人には、虫や恐竜、宇宙のはなしの本や、読み物、絵本をたくさん入れました。楽しんでいただけますよう!

新しく買った本(08.08)

～子どもの本～

<読み物>

『**ハリーポッターと死の秘宝 上下**』(J.K.ローリング作 松岡佑子訳 静山社 2008)★遂に最終巻出ました! リクエスト
『**しずく的首飾り**』(ジョーン・エイキン作 猪熊葉子訳 岩波書店 1985)
『**花になった子どもたち**』(ジャネット・テラー・ライル作 多賀京子訳 福音館書店 2007)『**シーオグの祈り**』(ジェームズ・ベネガン作 佐々木信雄訳 ランダムハウス講談社 200)『**マイカのこうのと**』(ベンノー・プルードラ作 上田真而子訳 岩波書店)『**霧のむこうのふしぎな町**』(講談社青い鳥文庫)(柏葉幸子作講談社 2008)『**ミラクル・ボーイ**』(ウルフ・スタルク作 菱木晃子訳 ほるぷ出版)『**3年2組は牛を飼います**』(木村セツ子作 文研出版 2007)『**おこりじぞう**』(山口勇子作 新日本出版社 1982)『**ぼうしをかぶったオニの子**』(川崎洋作 飯野和好 絵 あかね書房)

<絵本>

『**うみべのおとのほん**』(マーガレット・ワイズ・ブラウン作 レナード・ワイズガード絵 江国香織訳 ほるぷ出版 2007)『**おうじよさまとなかまたち**』(アローナ・フランケル作絵 もたいなつう訳 鈴木出版 2008)『**コッコじかんがはじまるよ**』(ケス・グレイ作 マッキラン絵 久山太市訳 評論社 2008)『**リゼッテとみどりのくつしたかたいつぼう**』(カタリーナ・ヴァルクス作 ふしみみさお訳 クレヨンハウス 2008)『**パロチェの夏休み**』(イヴォンヌ・ヤハテンベルフ作 野坂悦子訳 講談社 2008)『**すっぽんぽん**』(中川ひろたか文 藤本ともひこ絵 世界文化社 2008)『**こんな町、つまらない!**』(マーク・ローゼンターグ作絵 徳間書店 2008)『**ガブリシ**』(ユリアン・トーヴィム作 スズキコージ絵 ブッキング)『**おばけのおつかい こどものとも絵本**』(西平あかね作 福音館書店 2008)『**おおきくおおきくおおきくなると**』(佐藤ひとみ作 谷口靖子絵 福音館書店 2008)『**あまがえるさん、なぜなくの? 韓国の昔話**』(キム ヘウォン作 シム ウンスク絵 さ・え・ら書房 2008)『**プアー福音館あかちゃんの絵本**』(長新太作 福音館書店 2008)『**うさこちゃんびじゅつかんへいく**』『**うさこちゃんのてんと**』『**うさこちゃんとたれみみくん**』(ブルーナー作 福音館書店 2008)『**ドオン!**』(山下洋輔作 長新太絵 福音館書店 1995)リクエスト

<ノンフィクション>

『**宇宙への秘密の鍵**』(岩崎書店 2008)『**ミニ・サウルス ズウインクレア ソフォクレス**』(草土文化 2008)『**ぼく、あぶらぜみ かがくのとも傑作集**』『**たたんでむすんでぬのあそび かがくのとも傑作集**』『**うみべであそぼう**』(福音館書店 2008)『**くわがたむし いきもの2**』(JTB パブリッシング 2008)『**ヴェロキラプトル はねのある小さな肉食恐竜**』(ポプラ社 2008)

新しく買った本(08.08)

～大人の本～

<読み物>

『**絶えて櫻の**』(齋藤雅子著 新潮社 1999) リクエスト
陰謀渦巻く政界の闇、甘美で危険な恋…。在原業平を主人公に、伴善男、藤原良房、天皇家の人々、小野小町ら多彩な登場人物が読者を王朝絵巻の世界へひき込む、濃密で波瀾にみちた物語。(ネット古本屋でゲット。みなさん読んで!)
『**わが夫、チェ・ゲバラ 愛と革命の追憶**』(アレイダ・マルチ著 後藤政子訳 朝日新聞出版 2008) リクエスト
革命の戦火の中での出会い、革命政府樹立とともに始まった「新婚生活」、チェとカストロとの本当の仲、最後の闘いへと旅立つ前にチェが願ったこと…。チェ・ゲバラ没後40年、妻が長い沈黙を破り初めて語った回想録。
『**ザ・ロード**』(コーマック・マッカーシー著 黒原敏行訳 早川書房 2008)【ピューリッツァー賞(2007年度)】
「友達はいた?」「ああ。いたよ」「たくん?」「うん」「みんなのこと憶えてる?」世界は本当に終わってしまったのか? 父と子は、荒れ果てた大陸を漂流する。人類最後の火をかかげ、絶望の道をひたすら南へ。
『**いっちゃん**』(島中恵著 新潮社 2008)
『**おそろし 三島屋変調百物語事始**』(宮部みゆき著 角川書店)
『**時が滲む朝**』(楊逸著 文藝春秋 2008)H20 年上期「芥川賞」
著者ヤンイーは日本語で書いた初めての外国人受賞者。
梁浩遠と謝志強。天安門事件から北京五輪前夜まで、2人の中国人大学生の成長を通して中国民主化勢力の青春と挫折を描く。中国人の心情をえぐった一冊。
『**日無坂**』(安住洋子著 新潮社 2008)
『**ラブコメ今昔**』(有川浩著 角川書店 2008)
『**シズコさん**』(佐野洋子著 新潮社 2008)
あの頃、私は母さんがいつかおばあさんになるなんて、思いもしなかった。人生って、気が付いた時はいつも間に合わなくなっているのだ…。ずっと母さんを好きでなかった娘が、はじめて書いた母との愛憎。

<ノンフィクション・新書>

『**いつまでも中国人に騙される日本人**』(坂東忠信著 ベストセラーズ 2008) 中国五輪が始まりますが、日本人大丈夫?
『**「自分」から自由になる沈黙入門**』(幻冬舎 2008)
『**凡人として生きるということ**』(幻冬舎 2008)
『**情報は1冊のノートにまとめなさい**』(ナナ・コーポレート・コミュニケーション 2008) **4冊ともベストセラーのノンフィクション**

海の日のおはなし会 & ライブ 08

1部 昔話

- ★詩2題・北斗七星(トルストイ作)
- ★がちょうはくちょう(ロシア)
- ★赤いスズラン(アイヌ)
- ★小さなこげた顔(アメリカインディアン)
- ★雌牛の絹毛(ケルト)

2部 ミュージック

- ♥Noon (自作)
- ♥メリーゴーランド (自作)
- ♥故郷(ふるさと) (小学唱歌)
- ♥Weaving Song (自作)

3部 おはなし

- ★我が家を求めて(イギリス)
- ★鬼ぞろぞろ (舟崎克彦作)
- ★ざしき童子(ぼっこ)のはなし(宮沢賢治作)
- ★アザラシの皮の娘(アイスランド)

～聴きにいらっしやれなかった方に
プログラムを～



第八回 海の日のおはなし会に参加して

朝から青空が広がり暑いほど。でも夕方には心地よい風も吹き、これ以上ないほどの好天に恵まれ、伊豆高原駅大楠の木の下に、おはなし会場が伊豆急の方々により設営されました。おはなしは、駅のカリオンの時計塔が五時を刻むと同時に始まり、ミュージックライブをはさんで九話のお話が終わったのは七時二十分、すばらしいおはなしと心を癒す音楽で集まった七十人ほどの人々に暫し幸せを運んでくれました。

私の印象に残ったのは「小さなこげた顔」のおはなしでした。語り手さんのやさしい声もマッチしてか、主人公が愛と勇気と英知のかぎりをつくして困難を乗り越えていく話に心を打たれ、いつまでも心に残ることでしよう。

昨年始めて”海の日のおはなし会”を知りました。おはなしを聴いているうちにその話にどんどん吸い込まれていく自分に驚きました。

大楠の木の下から遠く見える大室山をバックに、自然の中で大人もこのような話をじっくり聴ける機会をくださりとても感謝しています。



語り手さんやバンドの方々は、東京、千葉、遠く岩手と、来てくださっているようですし、西村さんのご努力を初め、たくさんの方のお力添えがあつてのことと思いますが、このおはなし会が、<伊豆高原駅の風物詩>として、これからもずっとずっと末永く続いてほしいと願っています。

皆さん、はるばる遠くから有難うございました。

(秋山洋子)

第三回文庫開館記念子どものおはなし会



大室高原 沙羅の樹文庫にて 08.07.21

子どものおはなし会

いつもの文庫のおばちゃんたちの日曜の読み聞かせとまた違って、遠くから来てくれたおばちゃんたちが、おもしろいおはなし、こわいおはなし、手遊び、紙芝居をたくさんしてくれました。2歳未満～小学3年生までたくさんの親子で楽しみました。

プログラム

だんごどっこいしよ／七羽のカラス／ネズミ浄土／おなべとことこ(紙芝居)／ミアッカどん／マーシャとくま